SDB メール設定変更手順書

2018 年 8 月 3 日UPS ソリューションズ株式会社

 文書名
 SDB メール設定変更手順書
 版数
 1.3
 作成者
 UPSS 松尾



変更履歴

版数	日付	変更内容
1.0	2018/6/1	新規作成
1.1	2018/7/30	メール送信テストの項目の絵を設定済のデータに変更
1.2	2018/8/3	ShManager4の画像を最新に更新
1.3	2018/8/3	基本設計・詳細設計の表の画像を差し替え

文書名

SDB メール設定変更手順書

版数

作成者

1.3

UPSS 松尾



1. ログイン

デスクトップ上の以下アイコンをクリックし、「ShManager4」を起動下さい



未インストールの場合は、マニュアルを参照頂き添付 CD-ROM よりインストール下さい。

以下画面が表示されましたら、

シャットダウンボックスの IP、パスワードを入力し、接続ボタンをクリック下さい。

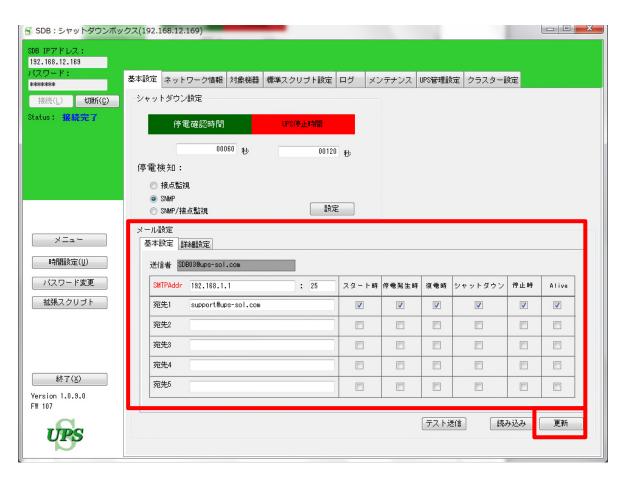
ログイン成功すると、Status が「接続完了」になります。





2. メール設定変更

メール設定、「基本設定」の項目を変更下さい。



■「基本設定」欄↩

送信者₽	送信元のメールアドレスを設定します。↩
SMTP Addr.	SMTPサーバのIPアドレスとポート番号を設定します。↩
宛先₽	送信先を5つまで設定できます。↩

メール送信イベント

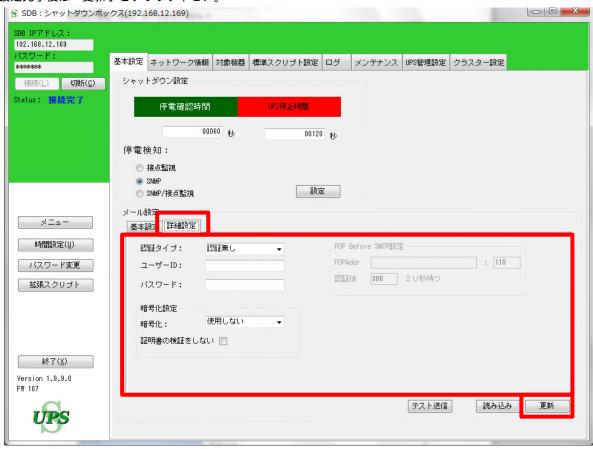
スタート時』	SDB03の起動時。
停電発生時。	停電検知時₽
復電時₽	復電検知時₽
シャットダウン開始時₽	シャットダウンモード移行時や
停止時₽	停止モード移行時。
Alive∂	毎日22:00に、UPS監視プログラムの正常動作を確認し、↓ 正常時にメール送信します。↓ 停電検知がSNMPの場合はUPS管理設定タブの全般設定から「UPS接 続確認」にチェックを入れてください。↓

版数



「詳細設定」のタブをクリック頂き、各項目の設定を入力下さい。

設定完了後は「更新」をクリック下さい。



■「詳細語の学」は期、

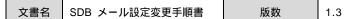
「詳細設定」欄↓	
認証タイプ↩	メール送信時の認証タイプを選択します。↓ 選択できる認証タイプは以下となります。↓ ・認証無し↓ ・POP before SMTP↓ ・SMTP認証(自動)↓ ・SMTP認証(CRAM-MD5)↓ ・SMTP認証(PLAIN)↓ ・SMTP認証(LOGIN)↓
ユーザーID。	認証時のID₽
パスワードℴ	認証時にパスワード₽

暗号化設定。

THIS TOPKACE		
暗号化↩	メール送信時に使用する暗号化タイプを選択します。↓ 選択できる暗号化タイプは以下となります。↓ ・使用しない↓ ・TLSv1.0↓	
	• STARTTLS₽	
証明書の検証をしない₽	サーバ証明書を検証しない場合にチェックを入れます。↩	

POP Before SMTP設定(認証タイプを「POP before SMTP」にした場合に設定できます)。

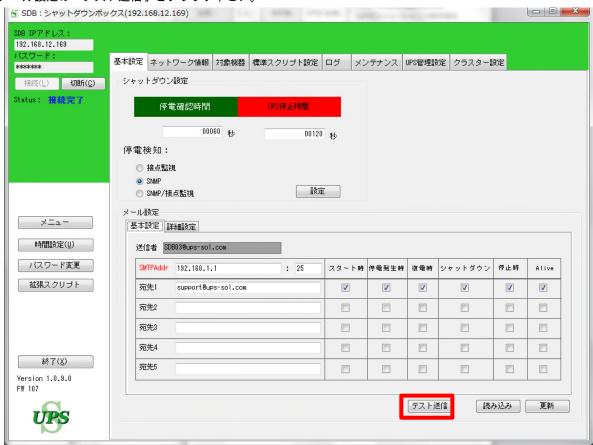
POP Addr₽	POP認証を行うサーバのIPアドレスとポート番号を設定します。↩
認証後待機時間₽	POP認証の後にSMTP送信を行うまでの待機時間を設定します。↩





3. メール送信テスト

メール設定の「テスト送信」をクリック下さい。



作成者

UPSS 松尾

送信テストが完了すると以下ダイアログが表示されます。



文書名 SDB メール設定変更手順書 版数 1.3

UPSS 松尾

作成者



送信テストに失敗すると以下例のようなダイアログが表示されます。 メールサーバ、シャットダウンボックスの設定内容を見直して下さい。

